

東フ°レ株式会社

～未来を変えるモノづくり～

東証第一部【証券コード 5975】

2018年 3月 3日

代表取締役 常務
松岡 邦和

本日のご説明内容

1. 会社概要と製品紹介
2. 現状と将来への取組み
3. 第14次中期経営計画
4. 業績推移と予想
5. 株主還元

社名	東プレ株式会社
設立年月日	1935年4月30日
資本金	56億1千万円(2017年3月末日現在)
株式	東京証券取引所 市場第一部上場
本社	東京都中央区日本橋3-12-2(朝日ビル)
代表者	取締役社長 内ヶ崎 真一郎
従業員数	単体1,202名/連結3,574名 (2017年3月末日現在)
連結売上	1,633億円 (2017年3月期)
営業利益	204億円 (2017年3月期)



1930-1950's

1935年（昭和10年）

- ・東京プレス工業(株)設立
(東京都江東区大島町)



1960's

1960年（昭和35年）

- ・相模原工場新設

1962年（昭和37年）

- ・東京証券取引所
市場第二部に上場

1964年（昭和39年）

- ・広島工場新設

1968年（昭和43年）

- ・冷凍・冷蔵車業界へ進出



1970's

1970年（昭和45年）

- ・空調業界へ進出

1971年（昭和46年）

- ・栃木工場新設



1974年（昭和49年）

- ・東京証券取引所
市場第一部へと指定替え

1979年（昭和54年）

- ・空調機器工場新設

1980's

1983年（昭和58年）

- ・電子機器業界へ進出



1985年（昭和60年）

- ・東プレ株式会社に
商号変更

2000's

2001年（平成13年）

- ・東プレ九州(株)設立

2004年（平成16年）

- ・アメリカ・アラバマ州に
自動車機器工場新設
(Topre America Corporation)



2010's

2010年（平成22年）

- ・東普雷（佛山）汽車
部件有限公司設立
- ・タイに自動車部品販売会社設立
(TOPRE(THAILAND)CO.,LTD.)



2012年（平成24年）

- ・東普雷（襄陽）汽車
部件有限公司設立
- ・メキシコ・ケタロ州に自動車機器
工場新設 (Topre Autoparts Mexico S.A.de C.V.)



2014年（平成26年）

- ・鈴鹿工場新設
(現：東プレ東海(株)鈴鹿工場)

2015年（平成27年）

- ・インドネシアに冷凍・冷蔵車
工場新設
(PT.TOPRE REFRIGERATOR INDONESIA)
- ・東プレ九州 技術センター新設



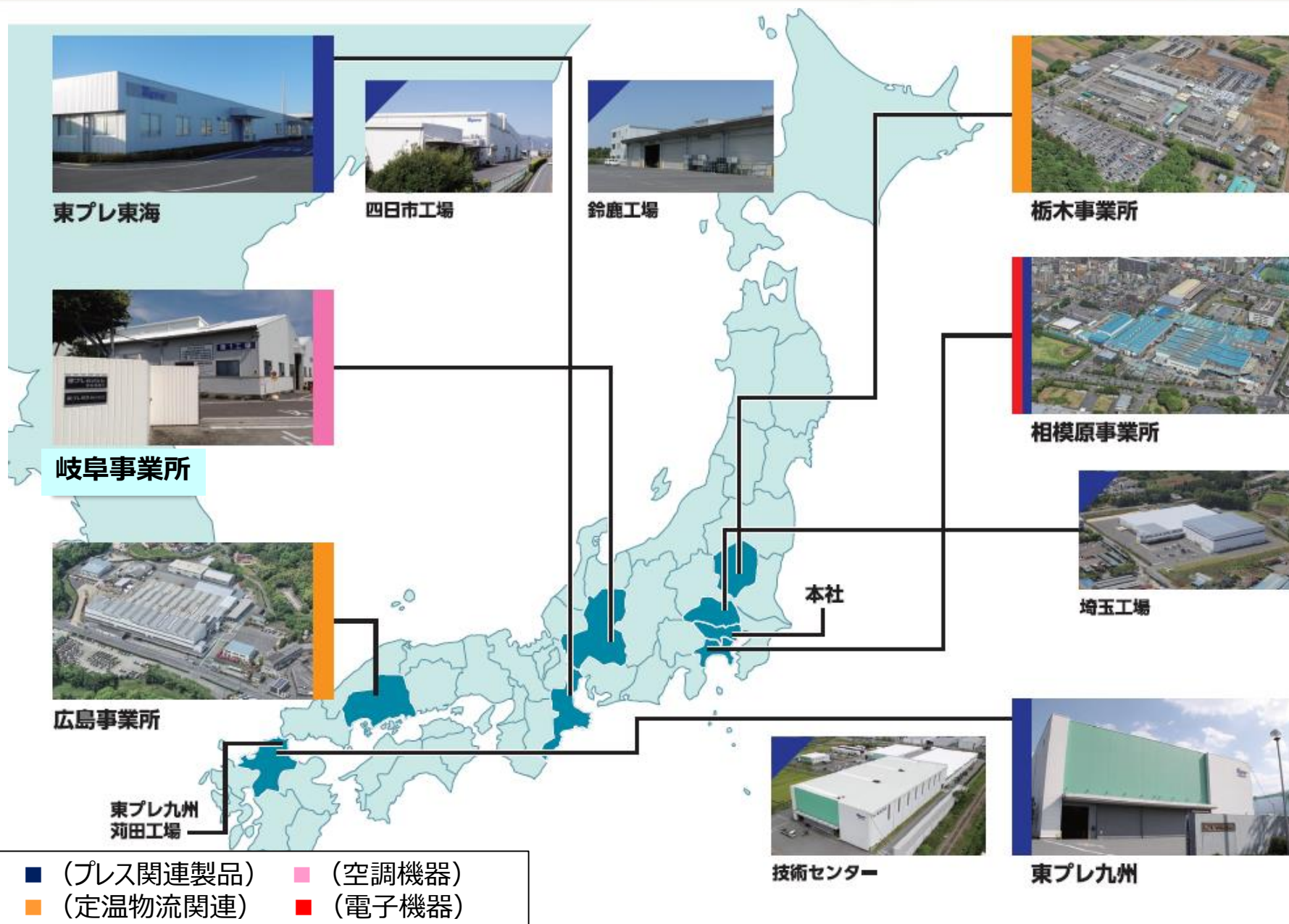
- ・タイに自動車機器工場新設

2016

2016年（平成28年）

- ・東プレ東海(株)設立





東普雷 (佛山) 汽車部件有限公司



東普雷 (襄陽) 汽車部件有限公司



Topre America Corporation



トレド事務所



TOPRE (THAILAND) CO., LTD.



PT. TOPRE REFRIGERATOR
INDONESIA



Topre Autoparts Mexico,
S.A. de C.V.

- (プレス関連製品)
- (定温物流関連)

世界最強クラスの高張力鋼板で製造 (ハイテン材)

ラジエーター
コアサポート



フロントピラー



センターピラー



リアピラー



バックドア



ドアビーム



ホイールハウス



バッテリーケース



生産拠点

- 相模原事業所
- 東プレ九州
- 東プレ東海
- 東プレアメリカ
- 東普雷(佛山)
- 東普雷(襄陽)
- 東プレメキシコ
- 東プレタイ

事務機器製品



交通信号機



プレス関連製品事業

売上比率 **67.1%**

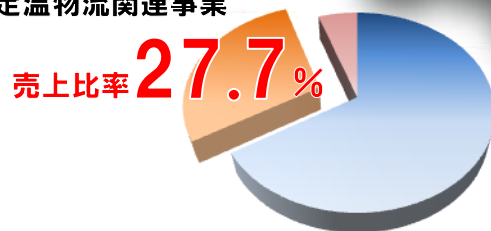
国内初、冷凍装置とコンテナの一貫生産



全国展開による充実した
サポート・メンテナンス体制



定温物流関連事業



低温仕様から中温、加温仕様まで、各種荷物に対応した最適温度で、コンビニ配送をはじめ、様々な定温流通の場面で活用されています。



低温(-15℃~-30℃) 中温(-5℃~+5℃) 加温(+18℃~+20℃)

生産拠点

- 栃木事業所
- 広島事業所
- 東プレインドネシア

販売会社

- トプレック

その他の事業(空調機器)

独創技術の進化でより広範囲な空調システムへ

産業用



VAV (可変風量装置)
空調システム「パプコン」



デシカント外気処理機



産業用送風機



ファンフィルターユニット



■ オフィスビル



■ 病院 (クリーンルーム)

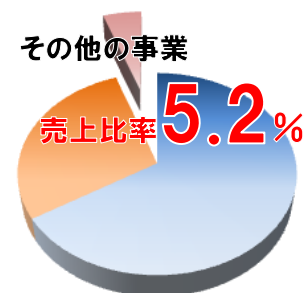
民生用



■ 住宅用換気システム



全熱交換型フロアセントラル
換気システム



生産拠点

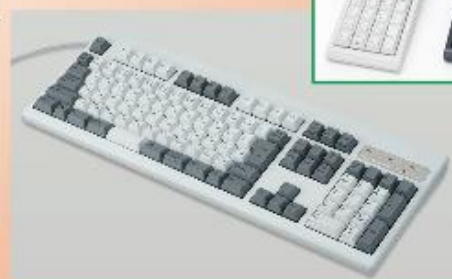
■ 岐阜事業所

静電容量技術をコアに多彩な電子機器を展開

キーボード「REALFORCE」

静電容量無接点方式を採用しているREALFORCEシリーズのキーボードは、操作性、耐久性、入力性能などの面で、お客様よりご好評を頂いております。

REALFORCE



組込型タッチパネル付 LCD



- 静電容量／抵抗膜／光学式の3種類
- 液晶サイズは5.7インチから19インチまで
- 用途実績 … 産業用機械、券売機、カーナビ など



組込型PC



磁気カードリーダー

生産拠点

■ 相模原事業所

1. 会社概要と製品紹介
2. 現状と将来への取組み
3. 第14次中期経営計画
4. 業績推移と予想
5. 株主還元

自動車
国内

**国内は量産部品の生産高の増加や
海外向け新車種の立ち上がりが好調。**

自動車
海外

**タイでの新車種の立ち上がりが非常に好調。
世界経済全体としては、緩やかに持ち直しているものの、
金融資本市場の変動の影響などの不安材料がある。**

冷凍車

**トラック市場全体が引き続き好調。温度管理の厳密化により、
より高品質な製品への代替需要がみられる。**

プレス関連製品事業

- **生産・技術・購買など、各分野での相乗効果を見込み、株式会社丸順との資本業務提携を締結**
 - ✓ 丸順の株式19.99%を取得したことにより、持分法適用関連会社となった
- **東プレ九州において、生産能力増強を目的として、福岡県苅田地区に2拠点目となる生産工場を建設中**
- **東海地区での各完成車メーカーとの取引拡大に伴い、東プレ東海 東員本社工場において組立工場を増設中**
- **東プレアメリカにおいて、オハイオ州へ3つ目となる工場を建設中
テネシー州の新工場に対しても追加設備投資を決定**
- **インドにおける、自動車用プレス部品の工場設立を決定**

定温物流関連事業

- 2017年1月に広島事業所の冷凍・冷蔵車専用工場化、2017年3月に栃木事業所の第4工場新設が完了し、生産能力が向上
- 新型航空保冷コンテナの研究開発に着手
 - ✓ 国土交通省の重点研究テーマである、「我が国の輸出力強化に資する物流分野の技術開発」に対し、ヤマト運輸株式会社と共同提案した開発プランが採用される
- 日本初 EV配送車登場
 - ✓ 大手コンビニエンスストアの配送車に東プレ製の電気式冷蔵機を搭載した、EV配送車が導入される

その他の事業

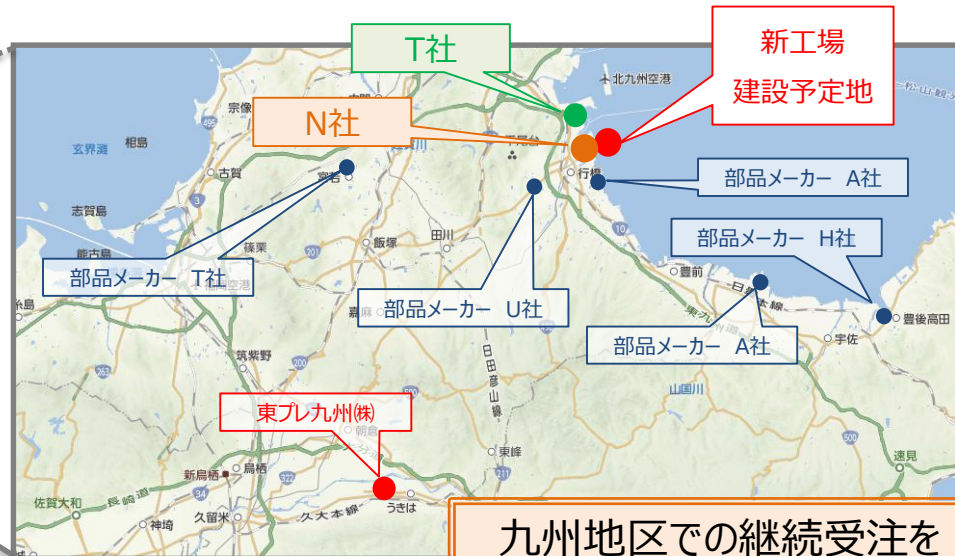
- キーボード「REALFORCE」をリニューアル
 - ✓ 2000年に発売開始以来、16年ぶりにデザインを刷新

国内拠点状況(工場新設)

東プレ九州 苅田地区新工場建設中

自動車生産の国内回帰などによる売上拡大を背景に、自動車用プレス部品の生産能力向上を目的として、東プレ九州 2 拠点目となる生産工場を建設中

新工場
建設予定地



九州地区での継続受注を狙い、競争力強化を図る



■ 基本情報

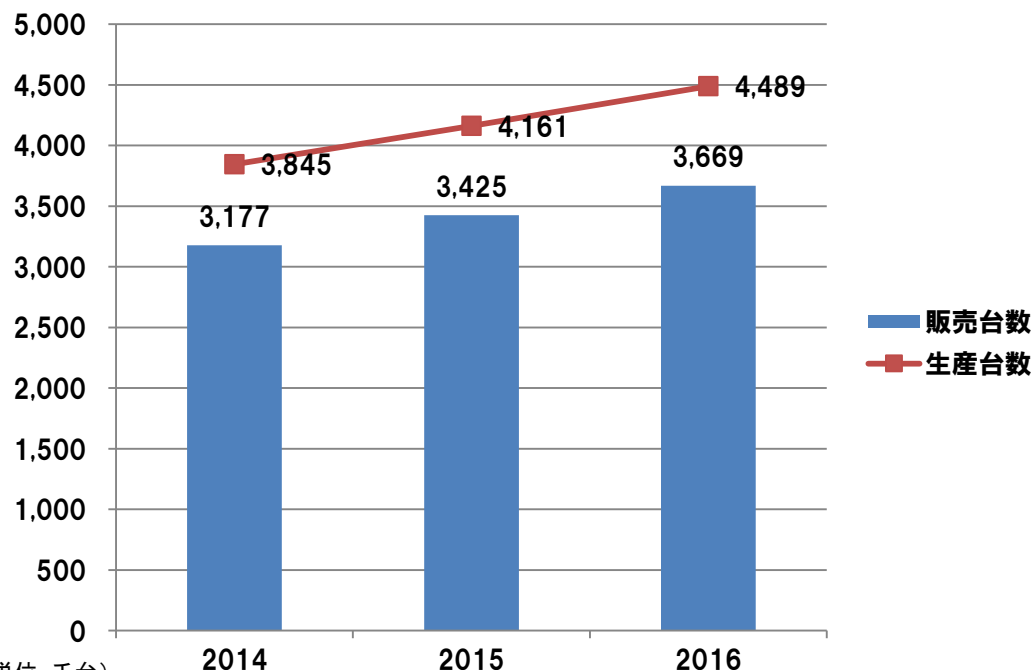
建設場所	福岡県京都郡苅田町
工場建屋	約12,500m ²
総投資額	約60億円
稼働開始	2019年1月(予定)

東プレ九州 苅田地区新工場 完成イメージ

Topre India Private Limited

■ 基本情報

建設場所 インド共和国グジャラート州
土地面積 約99,000㎡
工場建屋 約30,000㎡
総投資額 約55億円
稼働開始 2020年中(予定)
売上見込 約35億円(2021年3月期予定)



インド 新車販売台数

(出典: 日本貿易機構『2016年 主要国の自動車生産・販売動向』)



プレス工場建設予定地

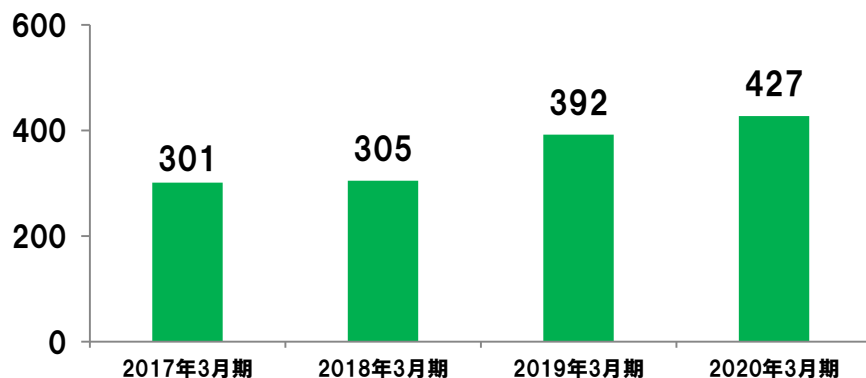
東プレアメリカ スマーナプレス工場 稼働開始



■ 基本情報

建設場所	テネシー州スマーナ
土地面積	約100,000㎡
工場建屋	約12,000㎡
総投資額	約50億円

■ 東プレアメリカ 売上予想



(単位:百万\$)



3,500tのトランスファープレス機を導入
東プレグループ内で最大の加圧能力を有する

単位 億円

項目	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期 (予想)
減価償却	87	100	127
設備投資	202	190	219
国内 (Domestic)	98	98	123
海外 (Overseas)	103	92	96

	工場	地域	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
国内	東プレ九州(株) 苅田工場		建設準備 ～ 工場建屋建設		2019年1月～稼働開始(予定)		
	建設準備 ～ 工場建屋建設		2019年2月～稼働開始予定				
海外	東プレアメリカ 追加投資(テネシー州)		建設準備 ～ 建屋建設		2019年4月～稼働開始(予定)		
	建設準備～建屋建設		2019年4月～稼働開始(予定)※				
		東プレインディア		建設準備 ～ 工場建屋建設			2020年～稼働開始予定

※組立工場：2017年9月稼働開始／プレス工場：2018年9月稼働開始

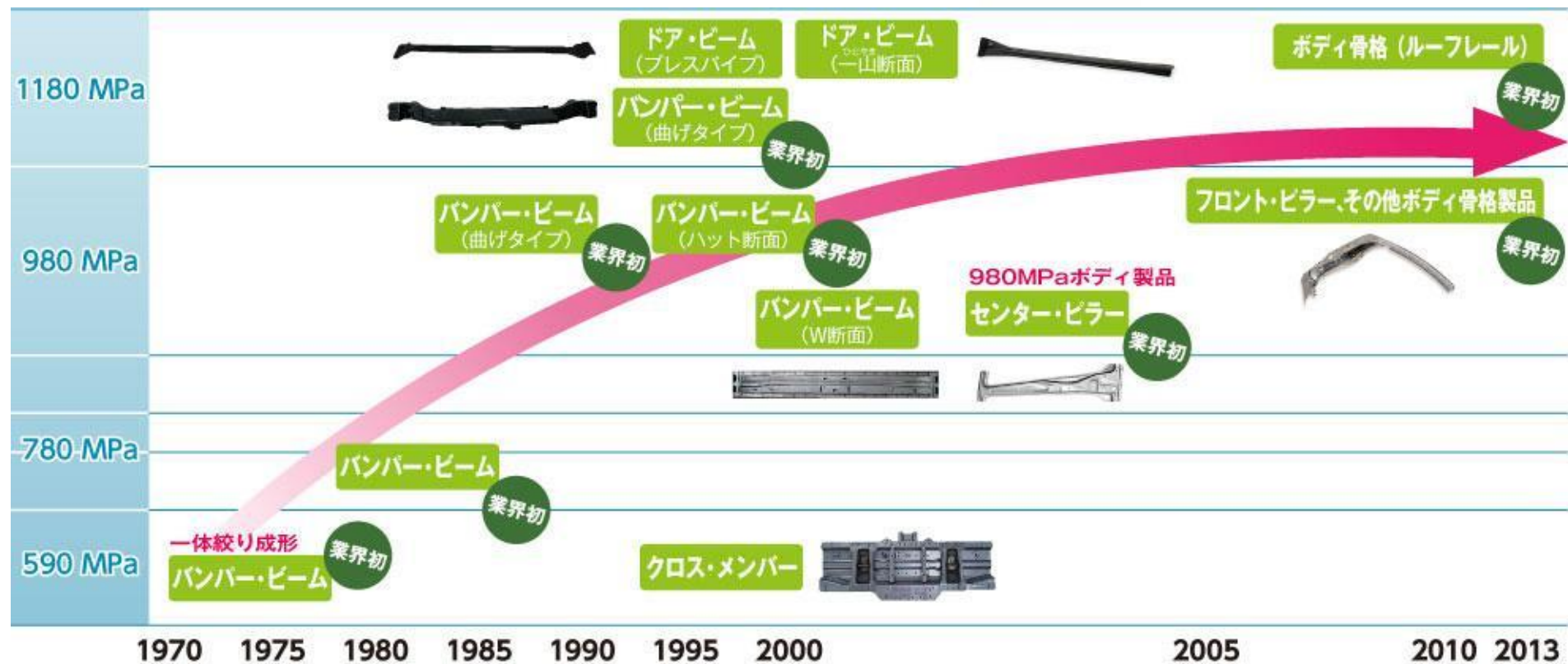
2018年2月 新たな追加設備投資の計画を発表

地域	工場	2018年	2019年	2020年	2021年
 アメリカ	アラバマ工場 (アラバマ州カルマン市)	2018年4月～プレス機等 設備追加		2020年6月～稼働開始(予定)	
	オハイオ工場 (オハイオ州スプリングフィールド市)	2018年4月～大型プレス機等 設備追加		2020年2月～稼働開始(予定)	
	スマーナプレス工場 (テネシー州スマーナ)	2018年7月～大型プレス機等 設備追加		2020年7月～稼働開始(予定)	
 メキシコ	メキシコ工場 (ケレタロ州サンファンデルリオ市)	2018年4月～プレス機等 設備追加		2020年5月～稼働開始(予定)	

- 東プレアメリカは7度目
 - 東プレメキシコは3度目
- の追加設備投資 ⇒ 合計約130億円

北米自動車用プレス部品の受注拡大に向け、
各拠点の更なる生産能力増強を図る

東プレの歴史はハイテン製品発展の歴史です



●1970年代 590MPa材をバンパーに適用、以降ハイテン製品開発を推進

●1980年代 980MPa材をバンパーに適用、以降様々なハイテン製品形状に応用してハイテンプレス技術を構築

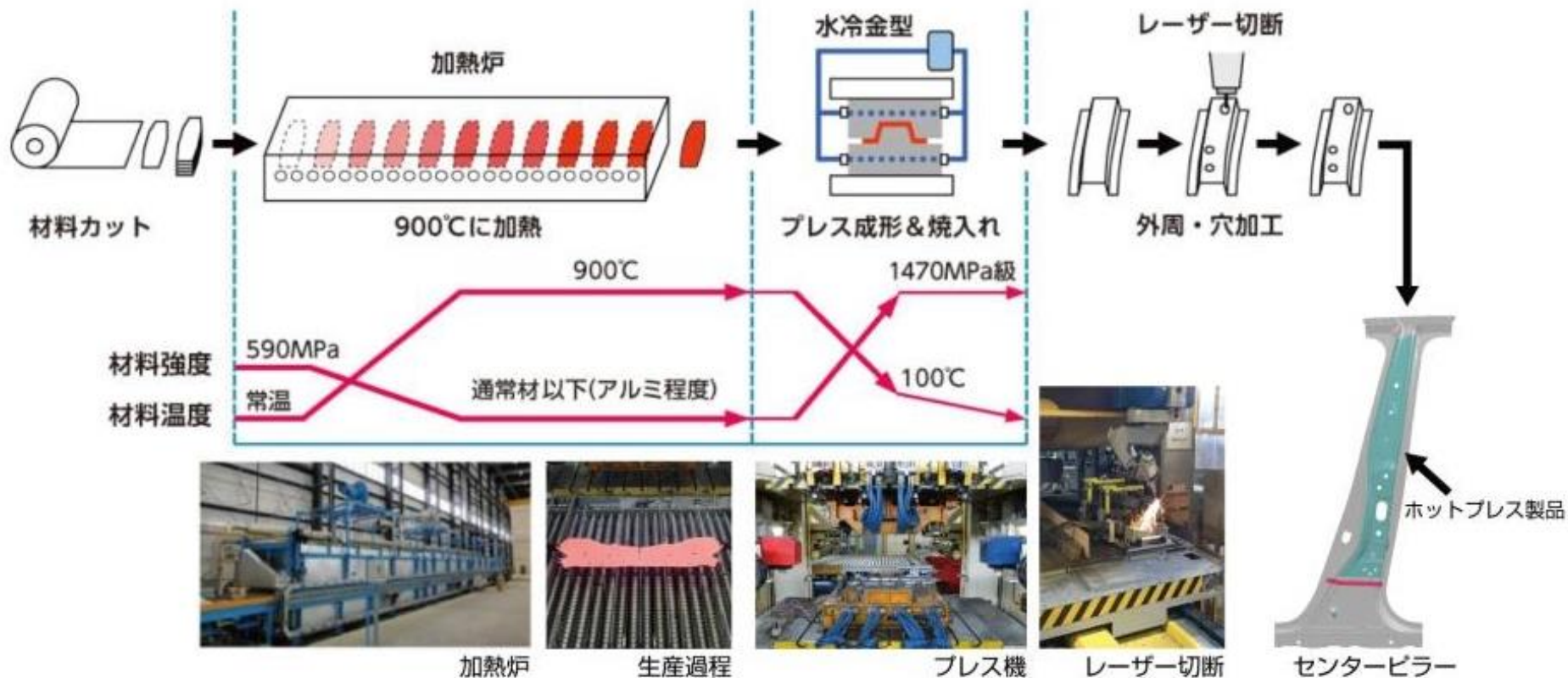
●2000年代 2002年に980MPa材を初めてボディ製品に採用

2013年に骨格部品としては業界初となる、1180MPa材の製品を量産化に成功

ホットプレス技術

ホットプレス 1470MPa級ボディ製品

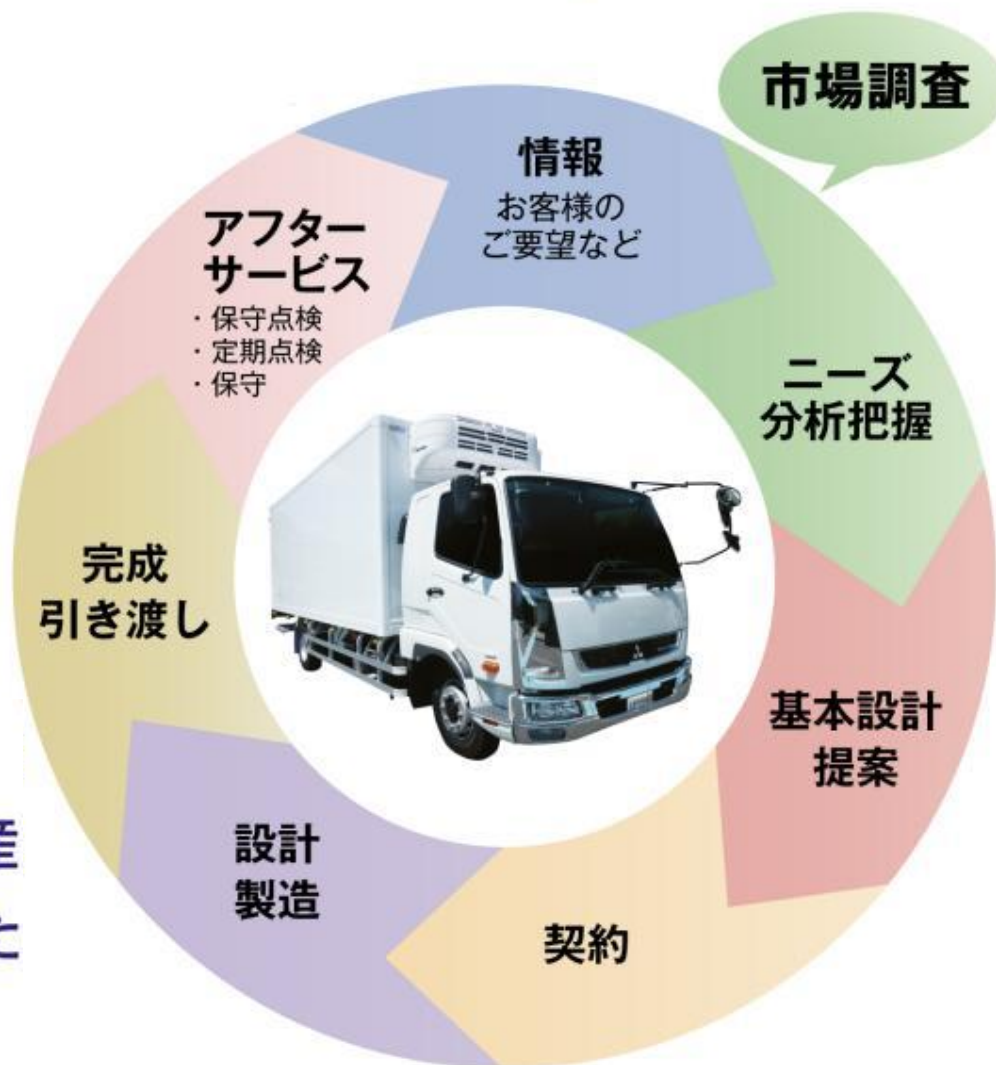
- ホットスタンプ成形技術(プレス成形と同時に金型内で焼入れ熱処理を行う**ハイブリッド工法**)を開発
- 自動車ボディ製品として**世界最高の1470MPa級強度の製品を量産化**



コールドチェーンのトータルコーディネーター



- コンテナ～冷凍装置の一貫生産
- お客様の使用ニーズに合わせた独自の発想



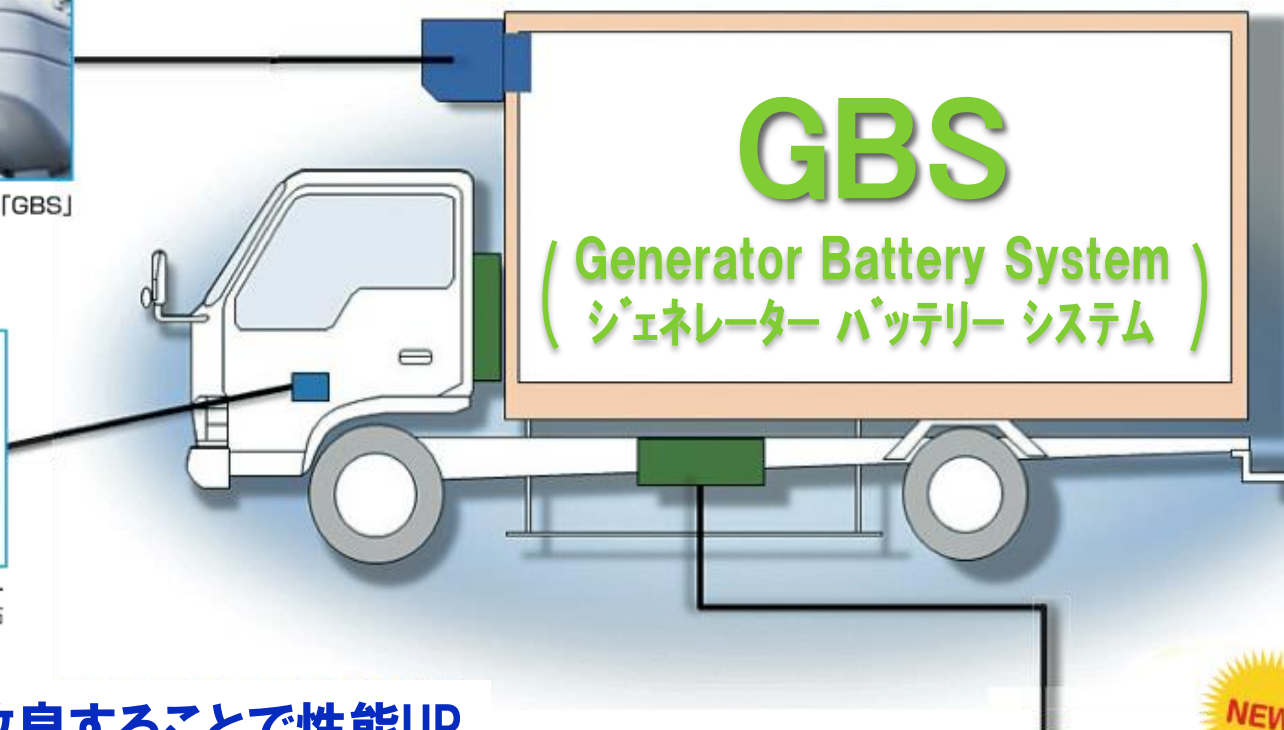
アイドリングストップ時も冷却可能なGBS



冷凍装置「GBS」



オリジナルPMGジェネレーター
※PMG：永久磁石



- バッテリーを改良することで性能UP
- エンジン停止時に従来品よりも
2.5倍～3倍の時間、冷却が可能に
- 満タンまでの充電時間を1/8に短縮
- 耐久年数が従来品の3倍

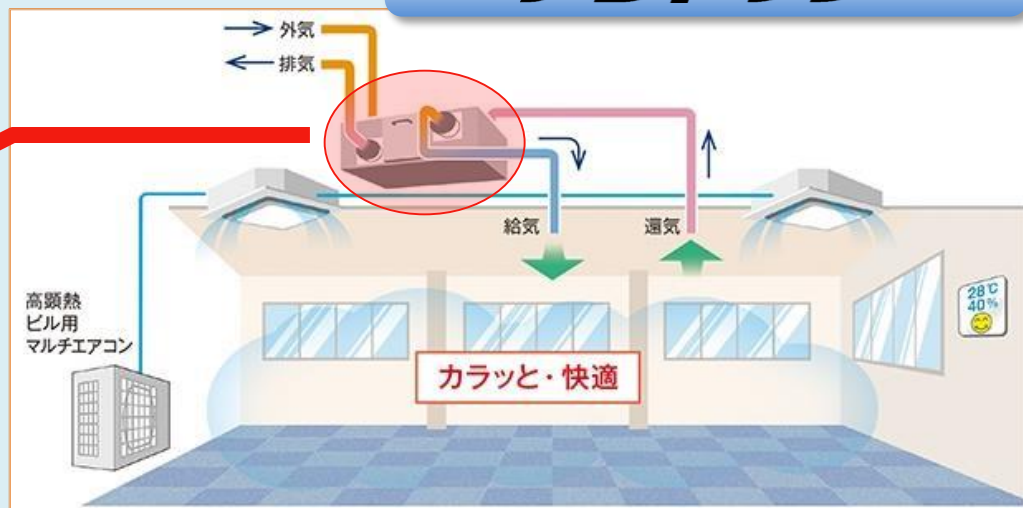
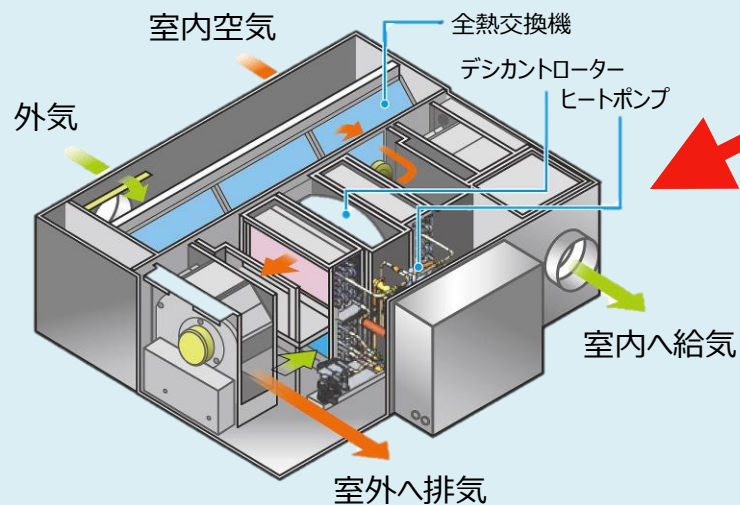


高性能バッテリー（ニッケル水素電池）

NEW!

東プレの新製品

デシトップ



REALFORCE R2

24



■ 希望小売価格：19,800円～
(平成29年10月発売開始)

ポイント!!

現行サイズより16%省スペース化!



スイッチの反応位置を
3段階に調節できる!

ポイント!!

1. 会社概要と製品紹介
2. 現状と将来への取組み
3. 第14次中期経営計画
4. 業績推移と予想
5. 株主還元

ビジョン

第14次中期経営計画

2017年4月～2020年3月（平成29年度～平成31年度）

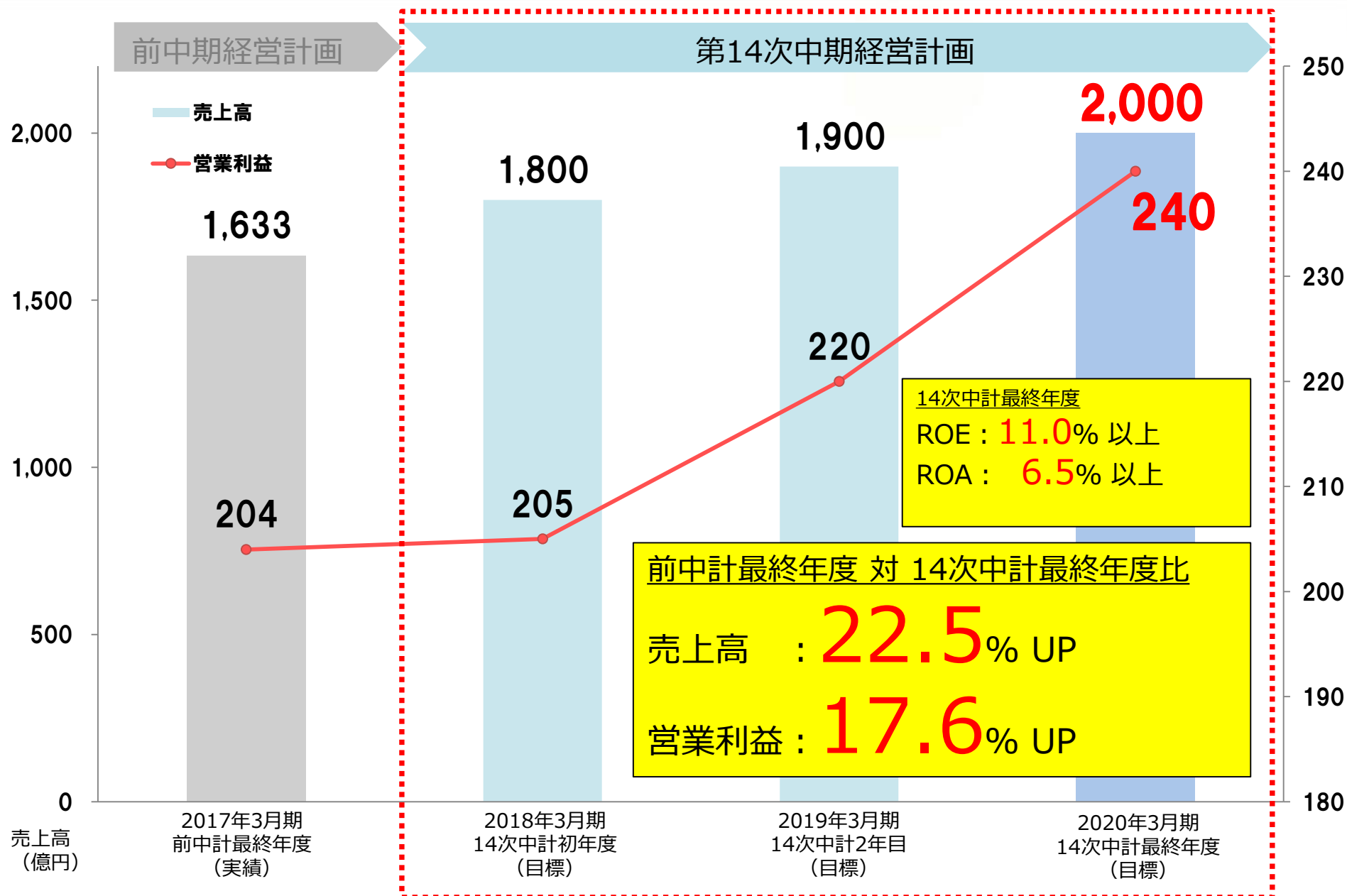
お客様に必要な提案を出し続け成長の基盤にしよう



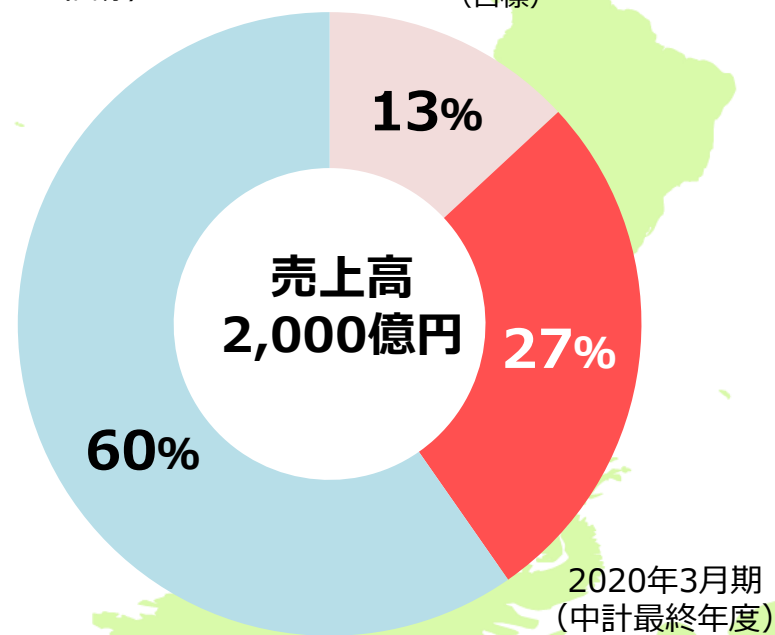
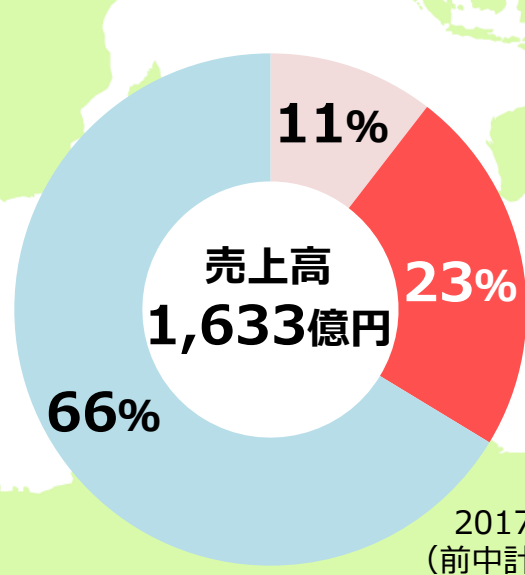
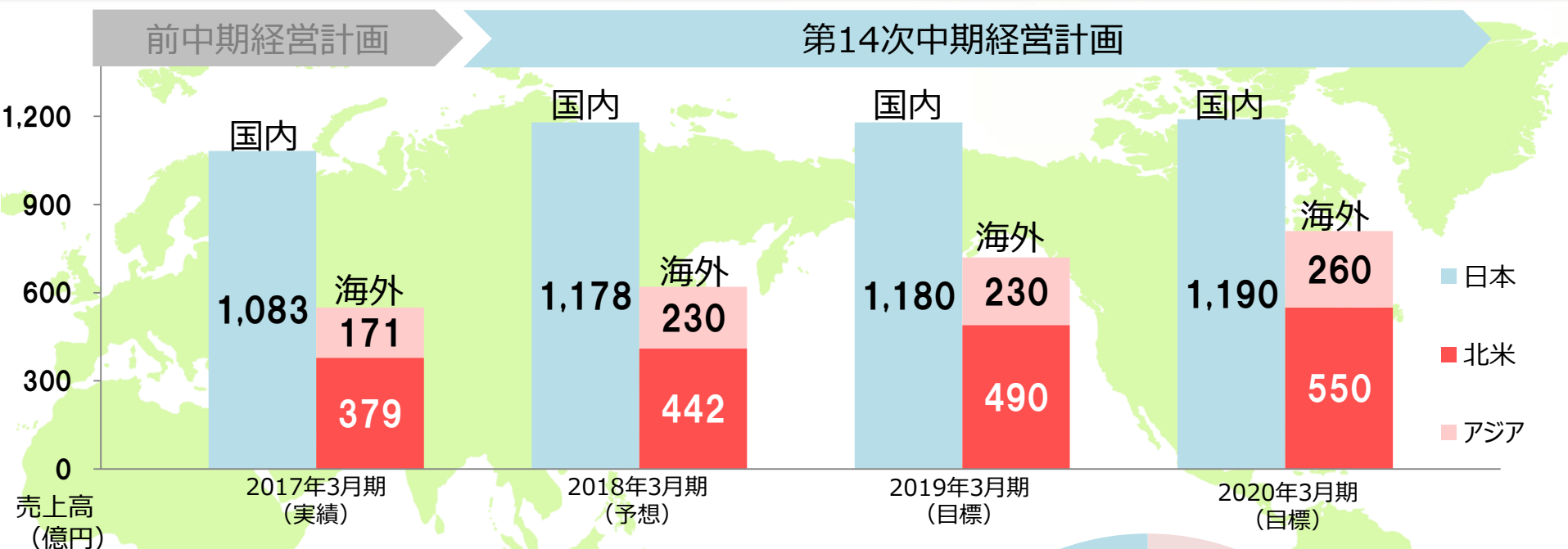
＜基本方針＞

1. お客様目線を持ち、技術革新やお客様の求める競争力をつける提案を出し続ける
2. 新拠点進出に備え、工場運営の標準化を確立する(パッケージ化)
3. 社員の成長を促進し、経営幹部を見据えた人材育成をする
4. 業界NO. 1の品質を追求する

第14次中期経営計画(業績目標)

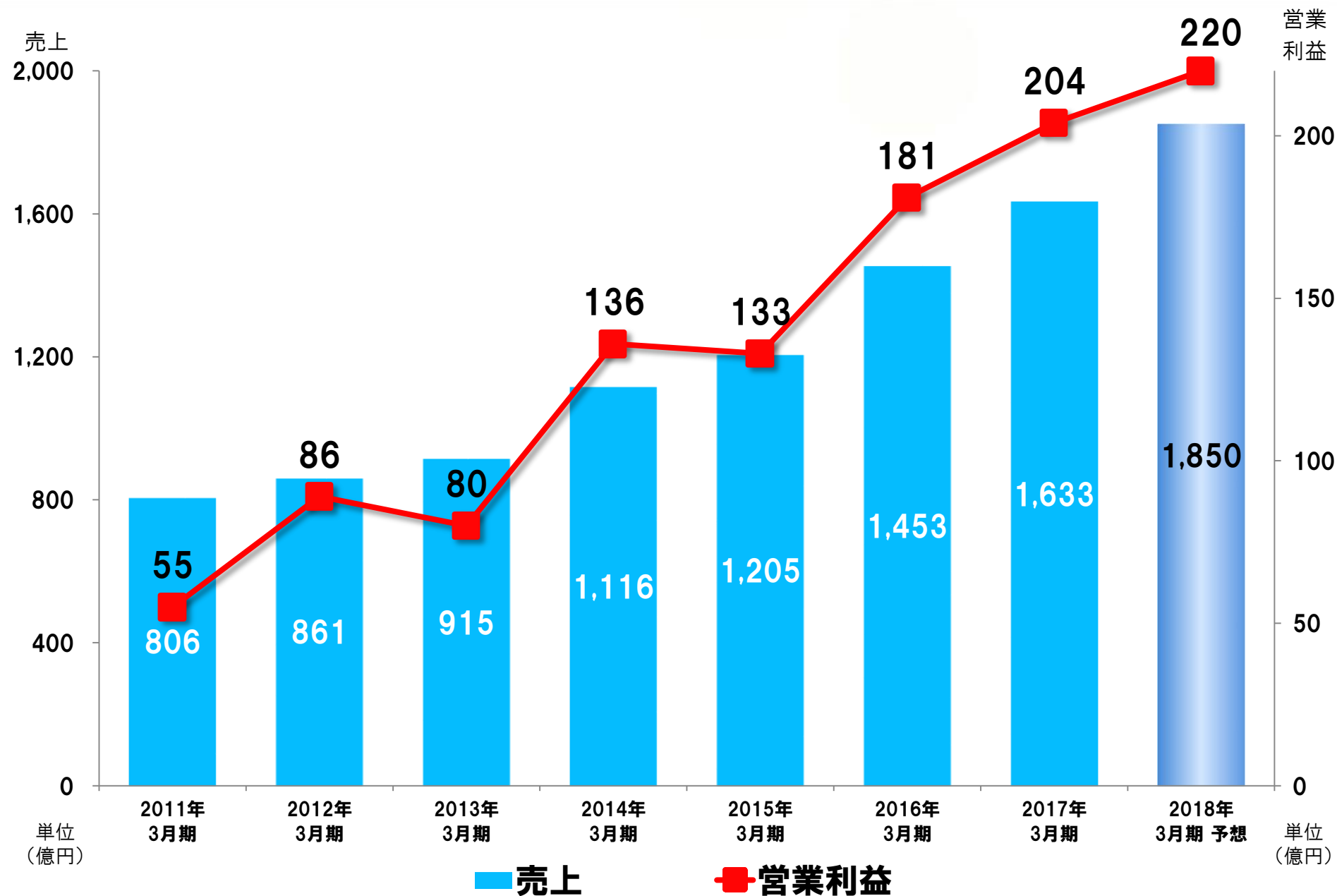


第14次中期経営計画(所在地別売上推移)



1. 会社概要と製品紹介
2. 現状と将来への取組み
3. 第14次中期経営計画
4. 業績推移と予想
5. 株主還元

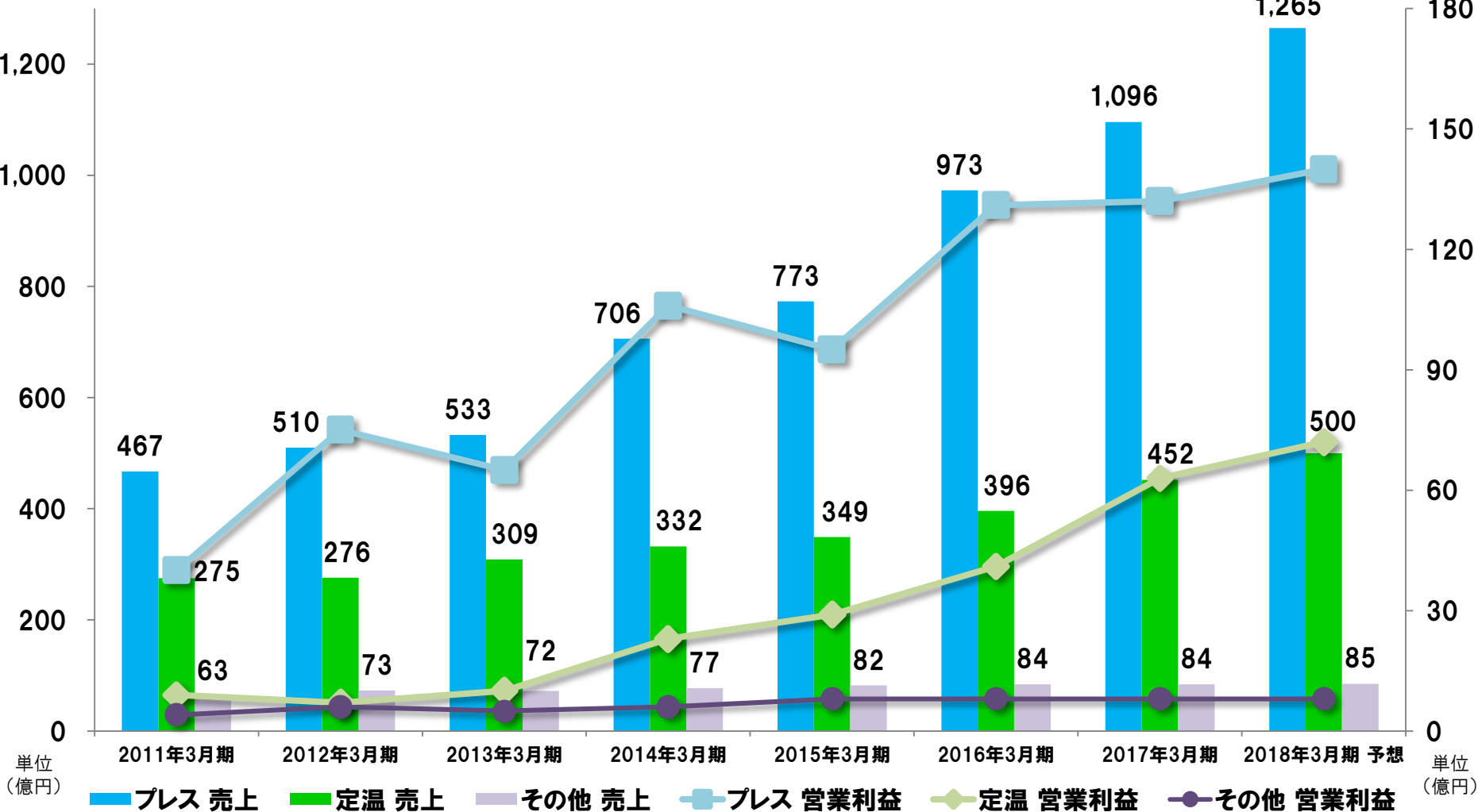
業績推移(売上・利益)



事業セグメント推移(売上・利益)

売上	806億円	861億円	915億円	1,116億円	1,205億円	1,453億円	1,633億円	1,850億円
営業利益	55億円	89億円	80億円	136億円	133億円	181億円	204億円	220億円

売上

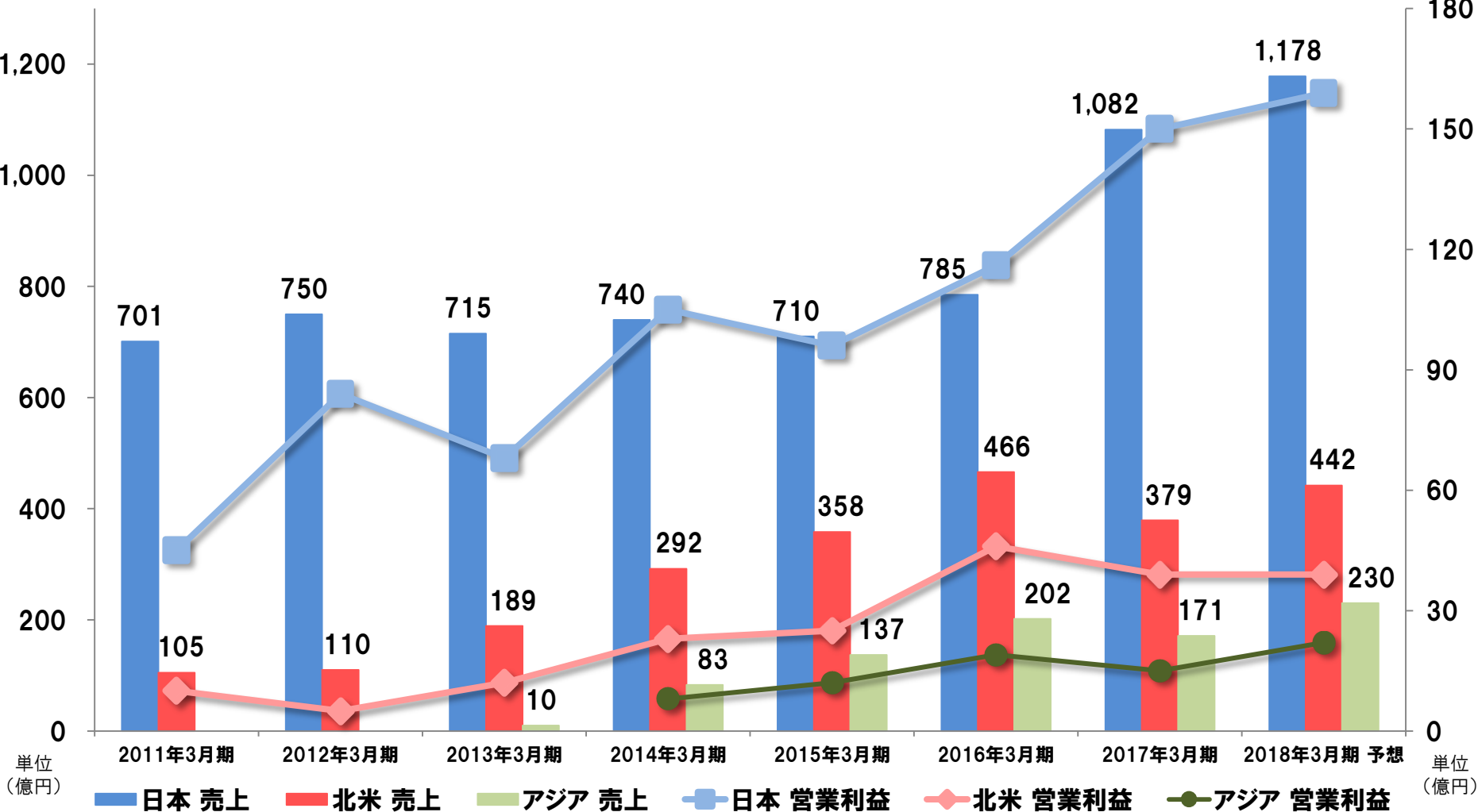
営業
利益

《ご参考:単純合算》

所在地セグメント推移(売上・利益)

売上	806億円	861億円	915億円	1,116億円	1,205億円	1,453億円	1,633億円	1,850億円
営業利益	55億円	89億円	80億円	136億円	133億円	181億円	204億円	220億円

売上

営業
利益

《ご参考:単純合算》

(単位：円)

為替変動

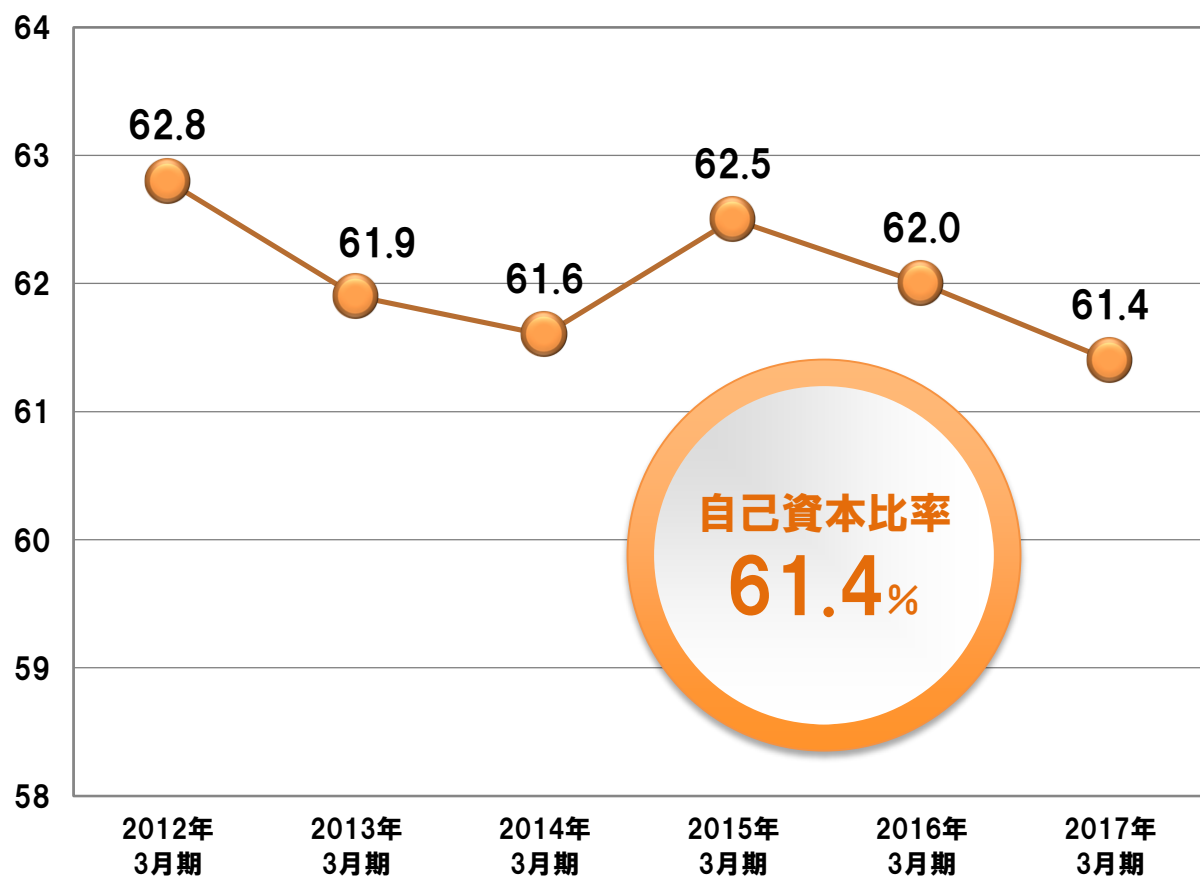
通貨		2015年年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期 想定レート
米国（\$）	平均レート	105.86	121.05	108.87	108.00
	期末レート	120.27	112.69	112.20	
中国（元）	平均レート	17.20	19.22	16.37	16.00
	期末レート	19.37	17.39	16.29	
タイ（バーツ）	平均レート	3.26	3.54	3.08	3.10
	期末レート	3.69	3.20	3.26	
メキシコ（ペソ）	平均レート	7.96	7.65	5.85	5.80
	期末レート	7.88	6.53	6.00	

※平均レート：売上、利益等の換算レート／期末レート：外貨建資産の換算レート

1. 会社概要と製品紹介
2. 現状と将来への取組み
3. 第14次中期経営計画
4. 業績推移と予想
5. 株主還元

財務状況の健全性を向上させることに努めております

(単位: %)

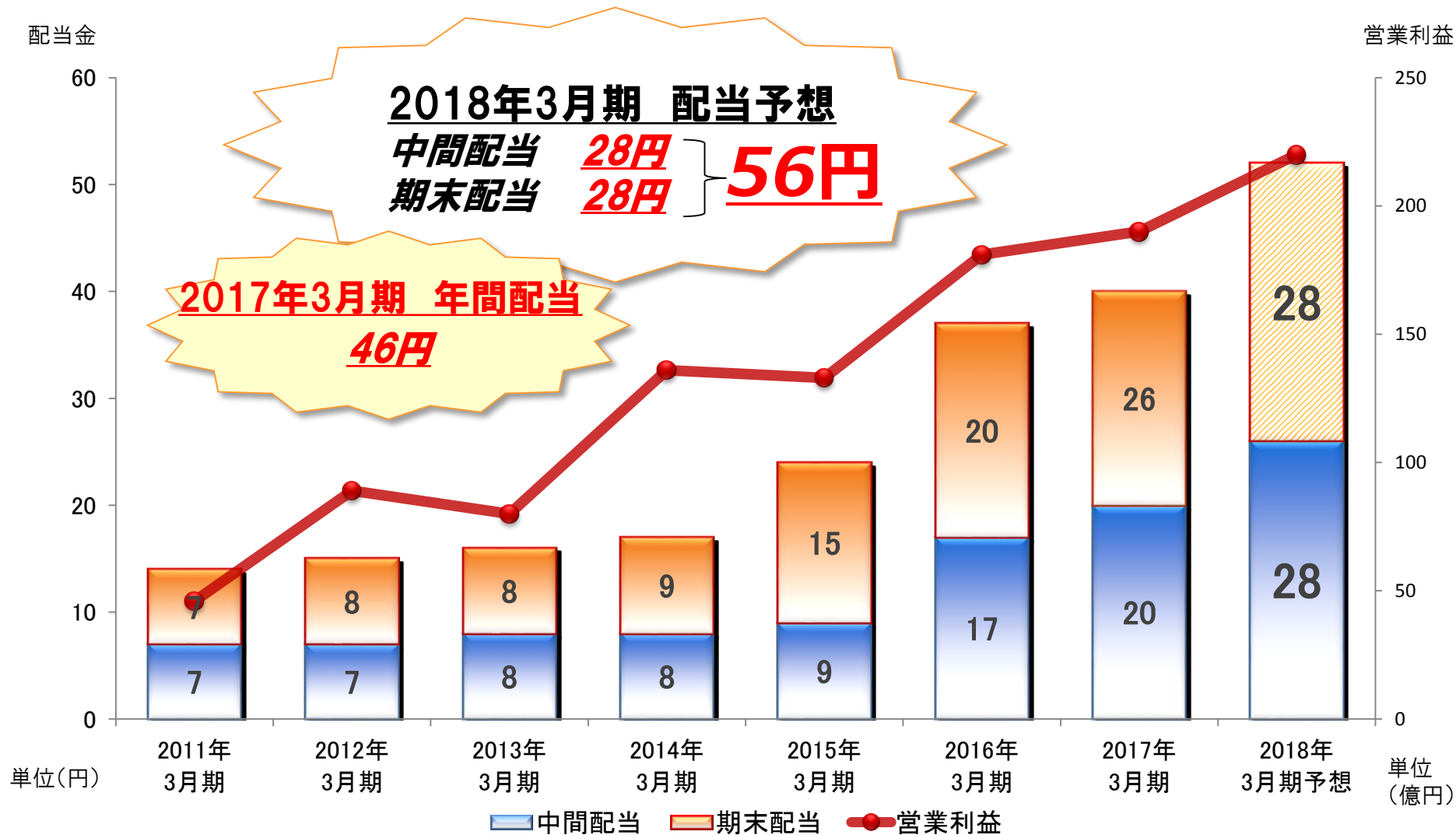


前期末(2017年3月期) 連結B/S

(単位: 百万円)

(資産の部)	
流動資産	89,146
固定資産	103,980
資産合計	193,127
(負債の部)	
流動負債	52,119
固定負債	14,895
負債合計	67,015
(純資産の部)	
株主資本	110,534
資本金	5,610
資本剰余金	5,060
利益剰余金	102,358
自己株式	△ 2,495
その他の包括利益累計額	8,047
非支配株主持分	7,530
純資産合計	126,111
負債純資産合計	193,127

配当基本方針：安定的かつ継続的な配当を実現すること



株主優待制度



株主優待制度について

当社では、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、より多くの株主様に中長期的に保有していただくことを目的とし、下記の通り株主優待を実施しております。

対象株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式100株(1単位)以上保有の株主様

贈呈時期

毎年1回、6月下旬(予定)

優待内容	当社オリジナル クオカード			
継続保有期間	1年未満		1年以上	
ご所有株式数に応じた 優待内容	100株以上 1,000株未満	1,000円分	100株以上 1,000株未満	2,000円分
	1,000株以上 10,000株未満	3,000円分	1,000株以上 10,000株未満	4,000円分
	10,000株以上	5,000円分	10,000株以上	6,000円分
基準日	毎年3月31日			

※保有株式数は、毎年3月31日時点の株主名簿に記載または記録された当社株式数により確定いたします。

※継続保有期間1年以上の株主様とは、毎年3月31日を基準として、当該基準日を含む直近1年間の株主名簿に同一の株主番号で継続して記載または記録されている株主様のことをいいます。

ご清聴ありがとうございました

技術と発想で「未来」を創る

Topre

本資料で記述している将来予測および業績予想は、
現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、
今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】 東プレ株式会社 総務部IR室

電話 03-3271-0711

<http://www.topre.co.jp>

ホームページ
QRコード

